

第61回 大磯町下水道運営審議会議事録

日 時 平成30年3月22日(木) 午後2時00分～午後3時25分

場 所 大磯町保健センター2階 研修室

出席者 委員) 梶田委員(会長)、笠間委員(副会長)、川地委員、杉崎委員、中越委員、  
高橋委員、岩田委員、牧野委員 以上8名  
事務局) 笹山都市建設部長、由井下水道課長、竹内技幹兼副課長兼係長、竹内主査、  
服部主事

○ 議事

事務局

本日の出席委員は8名で、大磯町下水道審議会規則により会議開催の定数に達しておりますので、会議を開催させていただきます。

本日の審議会の議事として、(1)「大磯町下水道使用料の改定について」という内容で、先ほど部長の方からもお話がありましたように、下水道事業の財政計画書の策定、確認について委員の皆様にご共有した理解をお持ちいただきまして、今後の会議における適正な使用料の検討の審議につなげていきたいと考えております。それと(2)「その他」でございます。よろしくお願いたします。

なお、会議につきましては、議事録を作成するため録音をさせていただきますので、ご承知をお願いいたします。

それでは、大磯町下水道運営審議会規則により、会長が議長を務めることになっておりますので梶田会長、審議会の公開についての確認を始めとします会議の進行について、よろしくお願いたします。

議 長

それでは、まず、事務局より説明がありましたように、会議の公開については、委員の皆様のご意見を聞くということですので、これからお諮りしたいと思います。

今日の議事については基本的に個人情報に係るものではないため、会議を非公開とすべき事項ではないものと考えられますが、委員の皆様どうでしょうか。

委員了承

議 長

本日の傍聴人は、いらっしゃいますか。

事務局

傍聴人は、おりません。

議 長

それでは議事に入る前に、資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局

資料について確認

議 長

(1) —①「下水道事業財政計画シミュレーションについて」事務局より説明をお願いします。

事務局

**資料1、参考資料1～5に基づき概要説明**

議長

ただ今の事務局からの「下水道事業財政計画シミュレーション」の説明について、ご質問、ご意見があればお願いします。

委員

国の基準とする単価の150円/m<sup>3</sup>について、現在の町の単価が低いことで、定期的な使用料の値上げをしていくことと思われるが、その前に公共下水道管理者としてなるべく努力を行った結果それでも値上げが必要であることを示した方が、住民にとって説得力がある。水洗化率を向上させる施策について、どのように考えていただけるのか。

事務局

使用料見直しの理由として、使用料収入と繰入金についての経費回収率が、周りの町と比べてかなり低い状況であるということと、150円/m<sup>3</sup>という国の基準の、そこまでは経営努力をなさよという目安に対しても低い状態であるという2点についてお示しさせていただきました。

このことを解消するためには、使用料の単価を上げる、接続率を上げることが有りますが、接続率の向上には住民の方々の協力が必要であります。前回は説明しましたが町では戸別訪問して接続をお願いしています。また接続するにはタイミングもあります。供用開始の説明会の中で、何箇所か別の場所にも土地を所有している場合に同時に接続したいという人もいました。接続率の向上については、今まで以上に接続促進の訪問を進めていきますので、使用料の見直しについてもご検討をお願いしたいと考えております。

委員

人口は、ほぼ横ばいだが、高齢者の一人暮らしも着実に伸びている。接続促進の努力をお願いしたい。

事務局

予算の審議の中で、議員の方からも、下水道の独立採算制は大原則ですが、接続率の向上についても体制整備を含め努力をお願いしたい話がありました。また、高齢者の方が多いので、接続訪問した際に高齢者のみの世帯で費用面が難しい、今後家をどうするか予定が未定のため接続に踏み切れないなどといったお話があった場合に関しても、何度か足を運んでおりまして、水洗化率の向上に引き続き務めていきます。

議長

前回は接続率の向上の話がありました。次回以降、値上げのシミュレーションも出てきますが、接続率の向上の努力もお願いしていきたい。

委員

収入（財源内訳）の下水道使用料が、今後増加するシミュレーションとなっている訳は、接続率の向上率によってなのか。

事務局

整備による供用開始区域の増加によるため、使用料単価が同じでも使用する人が増えるためです。今回のシミュレーションは、使用料単価が同じ場合で計算しています。

委員

収入（財源内訳）の各年度の下水道使用料が、上がったり下がったりするシミュレーションとなっている訳は。

事務局

水洗化人口の表の供用開始面積が年度ごとに増減しているため、新たに下水道を使用する人数も増減することで、下水道使用料も上がった、下がったりします。

事務局

年度によって整備する場所が変わってくるため、整備面積が異なっている。それに伴い、新たに使用できる人数が異なってきます。

委員

この資料の整備の計画は、今回のシミュレーションのためか。

事務局

以前から整備計画はあります。

議長

整備計画自体は以前からあり、使用料の増減は整備の増減があるためである、ということですね。

議長

水洗化人口が増加しているのは、その場所の人口が増えているということですか。

事務局

水洗化人口は、供用開始面積の人口を算出し、下水道ハンドブックにある供用開始後の水洗化率により求めています。

委員

総務省の150円/m<sup>3</sup>にした場合の経費回収率は。

事務局

平成31年に150円/m<sup>3</sup>とした場合、経費回収率は70%となる見込みです。次回の審議会に何パターンかご用意して、ご審議していただく予定です。

議長

今回は、様々なパターンで議論したいと考えています。  
他に、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

委員

雨天時浸入水が、増えているのは。

事務局

相模川流域下水道では、供用開始面積に雨天時浸入水の60m<sup>3</sup>/ha・年をかけて試算しています。面積が増えると、雨水の浸入が増えていくだろうという試算となっています。

議長

供用開始面積が増えるに伴い、一定の割合で増えていくシミュレーションですね。  
他に、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

委員

下水道使用料の委託単価というのは。

事務局

平成15年に企業庁と協定しました、上水道料と下水道使用料の同時徴収に係る費用です。一般家庭では2月に一度、営業所は毎月行っている検針を1件としています。12市6町で徴収に関する全体の費用を、件数で割り算出した単価です。また、使用料はいったん企業庁に入り、その後、町に入るという流れとなっています。

議長

全体の費用を割った数値ですね。金額は毎年変わるのですか。

事務局

毎年企業庁で算定しています。前々年度の実績の差額も含め、毎年金額が増減しています。

委員

再度確認ですが、平成31年度下水道経営状況の見込みの表で、経費回収率63.7%となっているが、仮に100%に近づけるには、150円/㎡で足りるのか。

事務局

150円/㎡になった場合だと、70%となる見込みです。

委員

何回値上げると、100%になるかという想定は。

事務局

まずは国の基準の150円/㎡を考えていくのかと考えております。次の審議会では何段階かのシミュレーションをお示しする予定です。今いただいたご意見の100%となった場合も、参考資料として、案をお出しできればと考えております。また、使用者への急激な負担増とならないような考慮も必要かと思っています。先ほどご意見がありましたとおり、接続率をもっと上げなければならないというような議論もありますので、その辺も考慮に入れながら、皆様にご意見を頂けたらと思います。

議長

他に、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

委員

主婦目線で考えていますので、値上げにはシビアになります。

議長

シミュレーションは多くの計算により算出されており、多くの数値が記載された資料となっています。次回以降のシミュレーションも様々な条件で行われるかと思っておりますので、みなさまにはぜひ資料を見ておいただき、チェックしていきたいと思っております。

事務局

今回の資料は、量がありましたので、不明な点があれば、事務局あてに連絡していただければ、次回に資料をご用意いたします。

議 長

ご不明な点は、事務局までご連絡をおねがいします。次回は単価を変えて、シミュレーションしていくということですね。

他に、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

委 員

料金改定の内容とは異なりますが、下水道や雨水の整備の関係で、3月9日の雨について町では対応できたのでしょうか。

事務局

公共下水道については、雨水管の整備については55mm/hの雨に対応することができる管を使用しています。先日の雨では一時、時間雨量60mmを超え、地下道冠水は2か所ありました。復旧に、2日ほどかかった場所もありました。

委 員

どのくらいで水が引けましたか。

事務局

地下道のため、強制的にポンプで排水しました。ポンプ室への浸水により、電気関係も壊れてしまいました。

委 員

今後、夏場にも大雨が降って、車への被害も考えられる。その辺の危機感も考えてほしい。

事務局

まずはできることからということで、雨水時の注意喚起の手法を考えていきます。

委 員

西小磯の地下道の排水に2日間かかっていた。費用もかかると思うが、大きなポンプを緊急時に用意することも考えてほしい。

委 員

管理する担当はどこか。

事務局

水防の観点では、建設課と下水道課ですが、河川の管理、雨水管整備は下水道課、その他は建設課となります。

事務局

先日の雨の際は、緊急時ということで町では課を超えて職員の応援をして対応しました。

議 長

雨水管の整備の検討をお願いしたい。

他にご質問・ご意見が無いようですので、続いて(2)その他について事務局より説明願います。

事務局

次回第62回の審議会につきまして、「財政計画に基づく、使用料改定比率の検討」という内容で、日程は5月を予定しております。日程が決まりましたら委員の皆様にご連絡いたします。その他については、以上です。

議 長

次回は5月ということで、新年度となりますがよろしく願いいたします。  
他に、「その他」について何かございますか。無いようですので、本日の議事は終了しました。  
議長の任を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局

梶田会長、笠間副会長、そして委員の皆様ありがとうございました。それでは、これもちまして第61回大磯町下水道運営審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。